

## 第1回東北神経内視鏡ハンズオンセミナー

3月24日に、第1回東北神経内視鏡ハンズオンセミナーが開催され、クリニカル・スキルラボの施設をご利用いただきました。このセミナーでは、日本神経内視鏡学会技術認定医の資格が得られ、東北地区では初めての開催となりました。学会の技術認定制度委員長の中島医師(東京医科大学)を始めとした6名の講師の方々をお招きし、東北地方と新潟県より24名の方が受講されました。

はじめに、中島先生の総論講義が行われ、動画や写真・MRI画像を用いて、内視鏡手技解剖の様々な症例における注意点などお話頂きました。また、パブリカを使用した内視鏡操作のデモンストレーションを行っていただきました。

次に、渡部医師(愛知医科大学)には、基本的な手技の話や使用機器について・合併症の注意点について講話を行って頂きました。内視鏡手術手技では、視野の中央で行うことを意識したり、ペアで実施する際は互いの意思の疎通が非常に大切であることなど、ご自身の経験を交えながら、大変貴重なお話をして頂きました。

続いて、脳室内視鏡コースと脳内血腫コースに分かれ実技を行いました。脳室内視鏡コースでは、脳室内に水を満たした頭部モデルを使用し、内視鏡の進め方を一通り実施しました。脳内血腫コースでは、血腫に見立てたコーヒーゼリーを頭部モデルの中に内蔵し、吸引管を使用し効率の良い吸引の仕方や、内視鏡の動かし方を実施しました。血腫の吸引は長時間に渡ることもあるため、受講者は、よりスムーズに操作できる持ち方のポイントなどを講師から直接指導を受け、熱心に取り組んでいました。

最後は、受講者に技術認定医の認定書を贈呈し、セミナーは盛況のうちに終了しました。

